

No	該当箇所	評価(素案)	第4回公立大学分科会の修正意見	修正文
1	全体評価 (1ページ) 1 総評	一方で、単位バンクシステムの導入のように十分な成果を上げているとは言い難い取組や、学生数の増加に見合うキャンパスアメニティの整備の必要、国際化や学生への経済的支援の問題など、次期中期計画に向けて検討の必要な課題も少なくない。	<ul style="list-style-type: none"> ・こういう指摘をするのは当然だが、少し文言を整理したほうがいい。 ・発展的に単位バンクを考えていくべきではないかと思う。 	一方で、単位バンクシステムのように、 <u>大学を取り巻く外部環境変化が著しい中で十分な成果を上げるため、さらなる工夫が必要となっている</u> 取組や、学生数の増加に見合うキャンパスアメニティの整備の必要、国際化や学生への経済的支援の問題など、次期中期計画に向けて検討の必要な課題も少なくない。
2	全体評価 (2ページ) 2 教育研究について	大学院の教育については、研究者養成だけでなく高度専門職業人養成を重視するのであれば、時代の要請に対応するための手段として、次々に専攻やコースを立ち上げるのではなく、修士課程・博士前期課程についての、長期的な展望に立った組織や教育課程面での見直しが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・この文章だとマイナスイメージが強く、これはよくないという感じに受けとられる。 ・直すのであれば、一つは「大学院の教育については、時代の要請に対応するための手段として、研究者養成だけでなく高度専門職業人養成を重視する必要がある」で切って、それから、「専攻やコースを立ち上げる際には、修士課程、博士前期課程についての、長期的展望に立った組織や教育面での配慮が必要である」とか、「配慮を忘れないでほしい」とか、そういうふうな言い方のほうがいいのかもしれない。 	大学院の教育については、 <u>時代の要請に対応するための手段として、研究者養成だけでなく高度専門職業人養成を重視する必要がある。また、専攻やコースを立ち上げる際には、修士課程・博士前期課程についての、長期的な展望に立った組織や教育課程面での配慮を忘れないでほしい。</u>
3	全体評価 (5ページ) 3 法人の業務運営及び財務状況について	教員の定年延長に際しては、業績評価に基づく任期延長とするなど、組織の新鮮さを失わせ他の教員の意欲を削ぐことがないように配慮して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「業績評価に基づく任期延長とするなど」は、やや書き過ぎのような感じがする。 ・組織の活力を下げたり、人事の停滞を招くことないように配慮してくれというぐらいにするのがいいのでは。 	教員の定年延長に際しては、 <u>人事の停滞を招き他の教員の意欲を削ぐことがないように配慮して欲しい。</u>
4	全体評価 (5ページ) 3 法人の業務運営及び財務状況について	東京都からの標準運営費交付金について、第一期においては毎年2.5%ずつ削減する効率化係数を設定しているが、法人として次期中期計画期間も安定した業務運営が行えるよう検討し、これについて都に提案すべきではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・この結びの言葉は、「これについて都に提案すべきではないか」とし、提案を促すかたちになっている。 ・評価委員会の評価として記載する内容としては違うかもしれない。 	(全文を削除)
5	項目別評価 (3ページ) 首都大学東京に関する目標 1 教育に関する目標 (改善を要する点)	中期計画「大学の基本理念を実現するための取組み」について、単位バンクシステムに関しては、利用学生数が伸び悩んでおり、どこに問題があるのかを徹底的に分析した上で、他大学との協定を進め、単位バンク科目の拡大や学生の認知度向上に努めることが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・こういう指摘をするのは当然だが、少し文言を整理したほうがいい。 ・発展的に単位バンクを考えていくべきではないかと思う。 	中期計画「大学の基本理念を実現するための取組み」について、単位バンクシステムに関しては、利用学生数が伸び悩んでいる。 <u>今後、開学後の高等教育の環境や制度の著しい変化を踏まえ、単位バンクという思想を十分に活かした新たな取組を検討することが望まれる。</u>